

災害時の「呼びかけ」をめぐって

令和5年度 北海道防災気象講演会

NHK札幌放送局メディアセンター 菅井 賢治

2023/10/01

NHK

東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）の最初動



14:46頃～ 緊急地震速報です。強い揺れに警戒して下さい。
けがをしないように身の安全を守って下さい。
倒れやすい家具などから離れて下さい…

14:48頃～ …強い揺れを観測した地域の皆さんにお伝えします。
落ち着いて行動して下さい。
揺れが収まってから火の始末をしてください。
落ちてくるもの倒れてくるものから身を守って下さい…

14:49頃～ (震度速報／大津波警報・津波警報 読み上げ)
…海岸や川の河口付近には絶対に近づかないで下さい。
早く安全な高台に避難して下さい…

(津波第一波観測)
…新たに津波観測の情報です。
石巻市鮎川で50センチ、大船渡港で20センチ…

15:15頃～ …釜石市の様子、津波が押し寄せていると見られます。
早く安全な高台に避難して下さい。
東京のスタジオでも再び揺れを感じています。
皆さん、強い揺れには引き続き注意して下さい…

約30分間に21回の避難呼びかけ 危機感伝わったのか

NHKアーカイブス「地震発生から72時間」

<https://www.nhk.or.jp/archives/saigai/special/311/72hours/>

○行動を促す強い呼びかけ

(大津波警報の場合の例)

「津波が来ます、一刻も早く逃げて下さい」

「今すぐ、可能な限り高いところに逃げることに」

「決して立ち止まったり、引き返したりしないこと」

「周りの人にも避難を呼びかけながら逃げることに」

○「事態」が伝わりやすい画面

端的に状況が伝わる表現
子ども・外国人も意識



(イメージ)

しかし、放送が届かない人に どう呼びかけるのか…

ひとりひとりに届けるために

NHK

NHKニュース・防災 アプリ (2016年6月～)

位置情報（市町村単位）で警報等のプッシュ通知
放送の同時配信・ライブ映像

Let's get started.

無料ダウンロードはこちらから。

NHK
ニュース
防災



「避難しようと思った」きっかけは？ (複数回答)

友人や家族に促されたから	41%
「避難勧告・避難指示」が出たから	29%
近くまで水が来ていると聞いたから	23%
市職員・消防団・水防団の避難呼びかけ	16%
川が氾濫した（あふれた）と聞いたから	15%
自治会役員・近所の人々の避難呼びかけ	13%
テレビ・ラジオの避難呼びかけ	6%

「関東・東北豪雨」における
防災情報認知と避難行動調査
(2015年12月 NHK文研)

「仲間」を増やしていくことが重要！

<https://www3.nhk.or.jp/news/special/suigai/yobikake/>

○東日本大震災以降、全国のアナウンサーが災害種別ごとに作成、随時バージョンアップ

○地域放送局のアナウンサーは地域版作成も(例)

「津波は国道38号線、通称“鳥取大通り”を越えて内陸まで押し寄せます」

○汎用的なテキスト・音声を公開・オープン化

2022年9月 大雨編

12月 大雪編

2023年5月 熱中症編

(地震・津波関連も今後検討中)

- ・アナウンサーによる解説動画
- ・自治体、交通機関、企業などとワークショップ
⇒地域で「考える場」作りに

(例) 長野県飯田市～防災無線・広報車に活用

<https://www3.nhk.or.jp/news/special/suigai/articles/9578/>

「伝わる」をはばむもの

停電（停波）、通信輻輳、雑音／正常性バイアス、動揺…

○ **緊急時** 時間がない＝ 情報の詰め込みは不可能
端的にしか伝えられない



○ **平時** “その時” のため 受け止めてもらう「**素地**」
記憶・伝承、**自分ごと**にする「**想像力**」



防災・復興
明日をまもるナビ

NHK
防災クロスロード
その時、どうする？

防災空襲の中で災害時に求められるさまざまな「選択」を体験することで、防災について自分の事として考えいきます。

START

「地震発生直後」の都心の駅	「地震発生10分後」近郊部	「地震発生から3日後」避難所	「地震発生1年後」被災地
---------------	---------------	----------------	--------------

備蓄の盲点

盲点！「トイレの備蓄」

行での避難所不足や、新型コロナウイルスで注目されているのが「在宅避難」。自衛隊の避難所にするために、欠かせないの携帯トイレ」です。

2021年6月6日

今すぐできる！家庭での“揺れ”は？

大地震の激しい揺れにどう備えたらいい？ 転倒や落下など、家の中には注意すべき場所がいっぱいです。簡単にできる対策八つを紹介します！

2021年

How To

津波のメカニズム

今後30年以内におよそ80%の確率で発生するといわれている南海トラフ巨大地震。そして地震とともに起きる津波。そのメカニズムと津波の威力を紹介します。

2021年6月6日



参考情報



「災害」 <https://www.nhk.or.jp/archives/saigai/>

過去の災害を探す

動画・記事を探す

災害 地域 年代

火山 1 / 2

- 2016年 阿蘇山の噴火
- 2015年 桜島初の噴火警戒レベル4
- 2014年 御嶽山の噴火
- 2000年 三宅島が噴火

大雨 1 / 2

- 2019年 西日本豪雨 (平成30年7月豪雨)
- 2017年 九州北部豪雨
- 2014年 広島土砂災害
- 2010年 各地で局地的大雨

台風 1 / 2

- 2019年 台風19号 (長野/東京)
- 2018年 台風24号
- 2015年 平成27年9月関東・東北豪雨 (台風18号)
- 2014年 台風8号 (長野/東北/青森)

地震/津波 1 / 2

- 2016年 福島県沖地震 各地で津波観測
- 2014年 福島県沖で地震 震度4 津波観測
- 2011年 東日本大震災
- 2004年 紀伊半島沖で地震 震度5弱

地震 1 / 2

- 2016年 北海道胆振東部地震
- 2016年 熊本地震
- 2007年 新潟県中越沖地震
- 2005年 福岡県西方沖地震

東日本大震災 テーマ別の証言 動画集

- 記事 津波にのみこまれて (NHK三陸新報社)
- 記事 病院で患者の生命を守る
- 記事 預かった命を守る 保育園、幼稚園、小中高校、施設で
- 記事 新たな一歩
- 記事 あの瞬間を記録した人たち
- 記事 生死を分けたチリ地震の記憶
- 記事 自力避難が困難な状況
- 記事 赤ちゃんを守る
- 記事 子どもを守るために
- 記事 被災地を救う
- 記事 企業はどう対応したか
- 記事 そのとき、大都市では
- 記事 教訓を生かした人たち
- 記事 外国人たちの震災体験
- 記事 乗客を守れ

○5分以内に家を出られる？（2022年12月 白糠町）

<https://www.nhk.or.jp/hokkaido/articles/slug-n561706ac8959>



新・避難訓練

戻ってしまった。「鍵！」。リストにも書いていた鍵を忘れてしまい、少し時間をロス。家を出るまでにかかった時間は**3分57秒**だった。

ズンと履いていた。訓練が始まると玄関に置いてあった上着だけを羽織り、非常用のリュックを背負う。冬用のブーツをはいて、外に出た。そのタイムはわずか**1分37秒**だった。

5分以内に家を出られる？ 白糠町で“新・避難訓練”

12月16日に運用開始の「北海道・三陸沖後発地震注意情報」。マグニチュード7クラスの地震が生じたあと、さらに巨大な地震が起きるかもしれないと注意を呼びかけるものだ。大津波警報・避難指示などは違ってすぐに避難する必要はないものの、日常の生活を維持しつつ、すぐに行動できるよう備えておくことが求められる。

○冬の避難の備えは（2023年3月）

<https://www.nhk.or.jp/hokkaido/articles/slug-nc56775015b3c>



冬の避難 持ち物は？ 服装は？

冬の避難の備えは（後編） どんな持ち物？ 服装は？

W（ウォーム）：上履きは必須、カイロは使用方法に注意

ウォーム（暖房）は温かさを維持するためのカイロ。ずっと同じ場所にカやけどになる可能性があるので、使い方を気にしながら使ってほしいと根本さんが一番大事なと言ったのが「上履き」でした。

「一番大事なものは上履きなんです。避難所となる体育館などの床のくらくなっていくことがあるので、はだしのままで避難所の中を歩くと。上履きは必ず持って行ってほしい」

アルファ化米

チキンライス

ようかん

乾パン類

Easy Zipper

今回の私の持ち物について、根本さんに点数を100点満点でつけてもらう